

■ 統合に向けての検討課題

(1) 通学距離及び通学手段

現在、各小学校の通学距離は、国が示す基準内に入っておりますが、適正配置を進めることによって通学距離が現在よりも遠くなることが考えられます。

通学の安全確保という観点からも必要に応じてスクールバスの運行などの通学手段の確保や、何らかの通学支援策を検討することが必要です。

(2) 学校と地域の関係について

本町の学校と地域との関係性の特徴として、PTAや学校応援団をはじめ、学校に対する地域住民の協力が非常に強いことから、引き続き、様々な地域の行事に児童や教員が積極的に参加するなど、両者の関係を良好に保っていく必要があります。

(3) 学校の統合による跡地・施設利用について

学校は、地域の拠点施設であるとともに災害時の避難場所であるなど、地域にとって重要な施設であり、統合後の跡地・施設利用については、地元の要望等も踏まえ、まちづくり施策等との調整を図りながら検討していく必要があります。

<各学校の概要>

- ・中山小学校 (校舎)s53.12 鉄筋コンクリート造3階建て h11.大規模改造・耐震化
(体育館)s53.12 鉄筋コンクリート造2階建て h11.大規模改造・耐震化
(校地面積) 13,060 m²
- ・伊草小学校 (校舎)h17.12 鉄筋コンクリート造3階建て
(体育館)h19.3 鉄筋コンクリート造2階建て
(校地面積) 14,435 m²
- ・三保谷小学校 (校舎)s43.3 鉄筋コンクリート造2階建て h元.大規模改造
h13.大規模改造・耐震化
(体育館)s55.3 鉄筋コンクリート造平屋建て h13.耐震化
(校地面積) 11,088 m²
- ・出丸小学校 (校舎)s51.6 鉄筋コンクリート造3階建て h8.大規模改造・耐震化
(体育館)s54.2 鉄筋コンクリート造平屋建て h18.大規模改造・耐震化
(校地面積) 12,640 m²
- ・八ッ保小学校 (校舎)s45.3 鉄筋コンクリート造2階建て h3.大規模改造
h14.大規模改造・耐震化
(体育館)s55.12 鉄筋コンクリート造平屋建て h13.耐震化
(校地面積) 11,993 m²
- ・小見野小学校 (校舎)s47.4 鉄筋コンクリート造2階建て h3.大規模改造
h14.大規模改造
(体育館)s57.1 鉄筋コンクリート造平屋建て h21.大規模改造
(校地面積) 18,908 m²

(4) その他の課題について